

東播支部だより

第87号
発行所
公益社団法人
兵庫県隊友会
東播支部
0790-49-3027
発行責任者
桑原 博



歴史ウォーク (加西市探訪)

兵庫県隊友会東播支部 石田支部長以下23名（会員家族2名を含む）は令和6年11月30日9時から加西市担当として、高倉理事役、志方理事役が計画した歴史ウォークとして加西市を探訪した。まず最初に兵庫県立フラワーセンター駐車場に集合し、見学ルートなど計画の説明を受けた後にフラワーセンター内に入場して、ダリアの花が咲いている園内をひと回りしました。季節的には花が少ない時期でありましたが、温室に入ったところ、ランの花はきれいに咲いており、目の保養となりました。フラワーセンター内をひと回りした後、センター内にある古代鏡展示館（兵庫県立考古博物館加西分室）に入館し、青銅の古代鏡、唐王朝の精華、合計

150点がショーケースに飾られており、展示館の係りの方の説明を受けて見学を行いました。

この博物館は、加西市在住の美術品蒐集家 千石唯司氏所有のコレクションの受贈を契機とし、平成29年4月フラワーセンター内に開館しました。また、令和3年4月には新たな寄贈に伴い、新展示室を増築し、より多くの作品を鑑賞できるようになったとお聞きしました。

千石唯司氏の中国美術工芸品をコレクションとして平成26年には500点が兵庫県に寄贈され、その中枢をなすものは古代中国鏡です。二里頭文化（夏）の時代（約3700年前）から宋代（約1000年前）迄を網羅し、質・量とも充実し、極めて重要な資料です。

鏡は、虎の鏡・龍と虎を交互に表す獣帯鏡・向かい合う獅子と虎・虎がない龍紋の鏡など、飽きることがない展示でした。



綺麗な花に癒される参加者



支部長挨拶



展示係の方による説明を受ける参加者



綺麗な花に癒される参加者

充分な時間を見学に見学で費やし、そこから車で約10分程度のところにある旧の市街地（毎月最終土曜日にお店を開けて手芸や創作品のほか、飲食店で活気を取り戻そうと奮闘している地域で「北条c o n n e（こんね）」と呼ばれています。）に集合して昼食をとることとなりました。

この昼食場所は、今回の計画担当者である高倉理事役と旧知の仲である女性で石橋和子様が「まちなか春陽堂」を経営されており、古民家的な雰囲気がある2階で鳥肉の炊込ご飯、加西おでん（豆腐や高野豆腐の代わりに卵焼きを入れている）、薬膳茶、最後にはサービスマンでコーヒーを頂き、全員お腹いっぱいとなり、大満足の1日となりました。昼食の最後に、お店側の紹介で加西市の名産品ダークホース（かぼちや）「やすえちファームの栽培品」を近くで販売されており、とても美味しいとの情報を頂き、昼食後にほとんどの会員が見に行き、8割程度の会員の方々が購入されました。もちろんその場所に石橋様もおられ、会員が購入する様子を楽しそうに見ておられました。何事にも一生懸命だなく感じる



旧市街地散策中の参加者

ことができる旧市街地、そこにいる方々の人柄、また、機会を見つけて足を運んでみたくなる雰囲気があり、応援したくなるひと時を手に入れることができました。

加西市探訪はこの昼食終了で解散となりましたが、数名の会員はその後、五百羅漢が見学できる羅漢寺に徒歩で移動し、紅葉の景色に映える五百羅漢を堪能しました。

今回参加した皆さんを始め、隣の良いところを知らなかつたなと思うことは多いと思います。支部が取り組む歴史ウォークとして、今後も背伸びすることなく身近にある良いところを紹介して心から感動できる一日を手に入れたいものです。

事務局長 細貝 寛徳

「北条c o n n e（こんね）」にて昼食



参加者による集合写真

第11回小野ハーフマラソン2024支援

隊友会東播支部は、2024年12月8日に行われた小野ハーフマラソンに石田支部長他16名が参加しました。

今年は予備自の招集訓練と重なったため若手支部会員の支援可能者が少なく、高齢会員まで急遽応援をお願いしましたが心よく支援していただきました。

支援内容は例年同様のランナーのスタート招集・誘導及びゴール管理です。スタート及びゴールという要点での重要な役割、その任務の理解と実行力（突発事態への速やかな対応や時にはやや強制を必要とする統制実施力）はいまだ健在で済々とした支援を行うことができました。

市のスタッフは数年で交代します。今回は新たな担当内容で進行については不慣れなところもあり、状況を見つつ意見具申をしながら運営のサポートを心掛けました。その結果、終了直後にはこの任務を統括された藤井氏からメンバーに丁寧なあいさつをいただきました。

支援開始前の緊張の一瞬



理事役 鈴木 栄一

今回は天候にも恵まれ、大きなトラブルやけが人の発生もなく終了することができたことに感慨を禁じ得ません。そして、来年以降も伝統ある大会発展に貢献すべく支援を継続したいと思います。

今回は天候にも恵まれ、大きなトラブルやけが人の発生もなく終了することができたことに感慨を禁じ得ません。そして、来年以降も伝統ある大会発展に貢献すべく支援を継続したいと思います。

00名、5キロ・1、5キロを含めた選手は5500名を超えており、年々規模が拡大しています。家族での参加や障害者の方々も多くみられ、またゲストランナーを含み和気あいあいとした大会となりました。11回目を迎え沢山の市民ランナーに支持されてきたと実感しています。12時30分には予定通り支援終了となりました。

任務完了後の集合写真



第11回小野ハーフマラソン支援風景



**青野原駐屯地令和7年
新春互礼会に参加して**

隊友会東播支部 石田支部長
以下6名は令和7年1月21日（火）に兵庫県小野市にある「小野市うるおい交流館エクラ」で実施された青野原駐屯地令和7年新春互礼会に参加した。

この行事は、駐屯地司令と駐屯地の協力会である防衛協会青野原駐屯地連合会が共催しており、毎年地域選出の国会議員、各種協力団体の長、近隣地域の有識者、各市町長、県議会議員、市議会議員等に対して新年の挨拶の一環で長年新春交歓会という名称で実施され、約17年前頃から新春互礼会と名称を変更して行っています。また、約10年前からは開催場所を駐屯地の体育館から駐屯地の外に会場を移して実施されています。

特に、今年是小林憲治1等陸佐が令和6年12月21日に栗田前駐屯地司令の後任として就任され、初めての部外有識者との交流事業となった行事です。

開会にあたり、小林駐屯地司令は挨拶において、青野原駐屯

地の49周年の歩みは、本日もご参加の皆様を含めた地域の方々のご支援・ご協力の元に成り立っている駐屯地であることのお礼のお言葉から始まり、ロシアによるウクライナ侵攻も3年を超えていること、国内では今年、阪神淡路大震災から30年を迎えたこと、その間に東北震災、能登半島震災等多くの災害等において自衛隊が活躍し、国民の皆様にも認められている状態となっていること、国内外の情勢において自衛隊の存在意義が高まることは、ある意味国が危機に瀕しているときであると言わざるを得ません。自衛隊は今後起きる十分なと言えない上限のない練度まで厳しい訓練を積み上げていくことが、我々自衛隊の責務であり国民の負託に答えることが出来るものであります。

また、昨今国民の信頼を揺るがすような隊員の不祥事案が発生しており、当青野原駐屯地でも同様の事件が起きています。これに対し、深くお詫び申し上げます。その信頼の回復に努めるとともに、何時いかなる状況においても与えられた任務を必ず達成しうる部

隊となる様、より一層訓練に邁進してまいります。最後に地域に根を張った部隊として、更に地域の皆様に信頼されるようない部隊となる様一層精進してまいりますと挨拶をされました。



今年の参加者は132名であり、部隊側の参加者を含めると150名を超える互礼会となっており、終始盛り上がる中で皆様が新年のご挨拶を含めて名刺交換をされ約2時間の行事が終了となりました。

全国でも、新春の賀詞交歓的な行事を行っている駐屯地は数少ないと聞いています。国民の負託に答える自衛隊であるならば、国民との交流により、国民

の理解を頂ける行事が無くなることに対して疑問を感じております。できるならば、青野原駐屯地は今後も地域とともに歩む自衛隊駐屯地として新春互礼会を継続して頂きたいと願っております。

事務局長 細貝 寛徳

総勢150名を超える互礼会参加者の皆様による歓談風景



激励品の贈呈

1月17日から1月21日までの間、青野原駐屯地において実施された令和6年度第2回予備自衛官招集訓練において、訓練参加中の原田理事役が、隊友会東播支部を代表して訓練担当部隊及び訓練参加者に対し「激励品」を贈呈しました。



支部の活動実績

- 1月15日 南海レスキューにおける家族説明会(青野原駐屯地)
- 1月21日 新春互礼会
支部長以下6名参加
- 1月17日～21日 予備自衛官招集訓練激励
- 1月25日 東播支部理事役会
支部長以下24名参加

【新入会員紹介】

- 吉山 浩徳 (西脇市) 青野原駐業
令和6年7月31日退官
- 立石 千秋 (加古川市) 青野原駐業
令和6年12月6日退官
- 高松 幸枝 (西脇市) 青野原駐業
令和6年12月17日退官
- 堀野 和博 (加古川市) 姫路駐業
令和7年1月7日退官
- 平山幸太郎 (加東市) 兵庫地本
令和7年1月13日退官

編集後記

早春の候 会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。令和6年度も終わりを迎えますがお陰様で年度目標の発行4回を達成する事ができました。これもひとえに会員皆様のご協力の賜物と感謝しております。誠にありがとうございました。令和7年度におきましても皆様からの引き続きのご支援・ご協力並びに多種多様な投稿をお待ちしております。

mrxrg983@yhb.ne.jp
桑原 博
hayato.masumii11@gmail.com
和久井 勇人